

2024.09.19

### Kit Components

Product code	Description
--------------	-------------

<b>CAY140-VxxAAE</b>	<b>CA7xAM Reagent Set for ammonium</b>
----------------------	--

Components:

71251981	Reagent AM1 for ammonium
----------	--------------------------

71251984	Reagent AM2 for ammonium
----------	--------------------------

## 項目 1: 化学品及び会社情報

## 製品識別子

化学品の名称 **Reagent AM1**

同義語: for ammonium

製品コード 71251981

該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。

推奨用途 実験用化学物質

## 安全データシートの供給元の詳細情報

供給者の会社名称,住所及び電話番号

Endress+Hauser

Conducta GmbH+Co. KG

Dieselstraße 24

D-70839 Gerlingen

## その他の情報問い合わせ先:

Phone: +49 (0)7156 209-10117

E-Mail: MSDS.ehla@endress.com

## 日本供給元

Endress+Hauser Japan Co.,Ltd.

183-0036 東京都府中市日新町 5-70-3

電話 042-314-1920

緊急連絡電話番号 +81-72-727-2499

## 項目 2: 危険有害性の要約

## 化学品のGHS分類



急性毒性(経口) 区分4

H302 飲み込むと有害

重篤な眼の損傷性/眼刺激性

区分2A H319 強い眼刺激

GHSラベル要素 ( 絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き )

## GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

## 絵表示



GHS07

## 注意喚起語 警告

危険と定められた成分をラベル表示:

サリチル酸ナトリウム

ニトロプルシドナトリウム

## 危険有害性情報

飲み込むと有害

強い眼刺激

## 注意書き

目保護帯/顔保護面 の着用

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合

は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(2ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM1

(1ページの続き)

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

プロダクトには有機化合物のハロゲン化合物 (AOX)、窒素、重金属化合物およびホルムアルデヒドが含まれていない

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

## \* 項目 3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

危険な含有成分:

CAS: 54-21-7	サリチル酸ナトリウム ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	10-20%
CAS: 13755-38-9	ニトロプルシドナトリウム ⚠ 急性毒性(経口) 区分3, H301; 急性毒性(経皮) 区分2, H310	0.1-1%

補足注意事項: 危険に関する注意事項の文面は 16 章から引用したものである

## 項目 4: 応急措置

応急手当処置に関する説明

一般情報:

中毒症状は時間がかなり経過した後に現れる場合もあるため、事故後最低 48 時間は医師の監視のもとで過ごすこと

吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ

皮膚に付着した場合 一般的にはこの製品は皮膚には刺激はない

眼に入った場合

瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、状態がよくなる場合には医者に相談する

飲み込んだ場合 即医者を呼ぶ

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。

何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

CO2, 消火粉末剤あるいは水放射。火が大きい場合には水放射もしくは耐アルコール性泡を使用

使ってはならない消火剤 情報なし

本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 追加的な関連情報は得られていません。

特別な保護装備: 特別な措置は必要としない

## 項目 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 防護服を着用

環境に対する注意事項

大量の水で薄める

下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする

封じ込め及び浄化の方法及び機材

液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する

13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する

(3ページに続く)

J

## 化学品の名称 Reagent AM1

(2ページの続き)

## 他のセクションへの言及

危険な成分は漏出ししない  
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照  
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照  
廃棄処分に関しては 13 項参照

## 項目 7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い 正しい利用方法の場合には特別な措置は必要ない  
火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない

## 混融危険性を含めた安全貯蔵条件

## 保管

保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし  
同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない  
保管条件に関するその他の注意事項: 容器は密閉した状態に保つ  
保管クラス: 12  
特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 8: ばく露防止及び保護措置

## 許容濃度等

## 作業場において限界値の監視を要する成分:

このプロダクトは作業場において監視する必要がある限界値を持つ成分は含まれていない  
追加注意事項: 生成時に有効なリストがもともになっている

## 設備対策

技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照

## 保護具

## 一般防止措置および衛生措置:

食物、飲み物、飼料からは遠ざける  
汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ  
休憩の前、作業終了後には手を洗う  
眼に入らないように  
眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

呼吸保護器具: 必要ない

## 手の保護:



保護手袋

重大な問題が起きるのを防ぐために、手袋の着用は必要最小限に抑える  
カテゴリー III の CE マークの付いた化学製品取り扱い用保護手袋のみを使用する  
手袋の材質は物質/材料/調剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない

## 手袋材

## ニトリルゴム

適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない

手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

## 眼の保護:



密閉式保護めがね

(4ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM1

(3ページの続き)

体の保護: 作業保護服

## 項目 9: 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理及び化学特性に関する情報

## 一般指示事項

## 物理状態

液状

## 色

着色

## 臭い

特徴的

## 嗅覚閾値

決まっていない。

## 融点 / 凝固点 (混合物の場合は,記載省略可)

決まっていない

## 沸点又は初留点及び沸点範囲

100 °C

## 可燃性

情報なし

## 爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

## 下限:

決まっていない。

## 上限:

決まっていない。

## 引火点

情報なし

## 自然発火点

&gt;250 °C

## 分解温度

決まっていない。

## pH 約 20 °C

7-9

## 粘性:

## 動粘性率

決まっていない。

## 力学的:

決まっていない。

## 溶解度 (混合物の場合は,記載省略可)

## 水:

完全に混合できる

## n-オクタノール / 水分配係数 (log値) (混合物の場合は,記載省略可)

決まっていない。

## 蒸気圧 約 20 °C

23 hPa

## 密度及び / 又は相対密度

## 密度 約 20 °C:

1.021 g/cm<sup>3</sup>

## 相対的密度

決まっていない。

## 蒸気密度

決まっていない。

## その他のデータ

## 外観

## 形:

液状

## 健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指

## 示事項

## 発火温度:

プロダクトは自然発火しない

## 爆発の危険:

プロダクトは爆発する危険はない

決まっていない。

## 溶剤含有量:

## 水:

77.5 %

## 固形物含有量:

0.0 %

## 状態の変化

## 気化速度

決まっていない。

## 項目 10: 安定性及び反応性

反応性 追加的な関連情報は得られていません。

## 化学的安定性

熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない

危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない

避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。

混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。

危険有害な分解生成物 危険な分解プロダクトはない

(5ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM1

(4ページの続き)

## 項目 11: 有害性情報

## 毒性学的影響に関する情報

急性毒性 飲み込むと有害

## 分類上の LD/LC50 値:

CAS: 54-21-7 サリチル酸ナトリウム

口 LD50 930 mg/kg (rat)

CAS: 13755-38-9 ニトロプルシドナトリウム

口 LD50 20 mg/kg (human)

皮膚 LD50 99 mg/kg (rat)

皮膚腐食性 / 刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 強い眼刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

呼吸器に危険 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 12: 環境影響情報

## 毒性

水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。

残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。

生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。

土壌中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

オゾン層への有害性 追加的な関連情報は得られていません。

## 他の副作用

その他のエコロジーに関する注意事項:

## 一般注意事項:

水への危険度分類 1 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性はわずかにある

薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない

## 項目 13: 廃棄上の注意

化学品 (残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報

勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない

## 洗浄されていないパッケージ:

勧告: 関係当局の規則に従って処分する

推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使って

## 項目 14: 輸送上の注意

## 国連番号

ADN, IMDG, IATA

非該当

## 品名 (国連輸送名)

ADN, IMDG, IATA

非該当

## 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

ADN/R-クラス:

非該当

(6ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM1

(5ページの続き)

容器等級	
IMDG, IATA	非該当
環境危険:	情報なし
ユーザー用特別予防措置	情報なし
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
UN "模範規制":	非該当

## 項目 15: 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報  
化審法

既存化学物質		
CAS: 54-21-7	サリチル酸ナトリウム	3-1639
CAS: 6132-04-3	tri-Sodium citrate dihydrate	2-1323
特定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
優先評価化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
白物質		
内容成分はリストアップされていない		
既存化学物質安全性点検結果 ( 分解性・蓄積性 )		
内容成分はリストアップされていない		
既存化学物質安全性点検結果 ( 毒性 )		
内容成分はリストアップされていない		
PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)		
内容成分はリストアップされていない		
PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)		
内容成分はリストアップされていない		
PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:劇物		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:毒物		
CAS: 13755-38-9	ニトロプルシドナトリウム	
毒物及び劇物取締法:特定毒物		
内容成分はリストアップされていない		
労働安全衛生法		
危険物		
爆発性の物 ( 施行令別表第 1 第 1 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
発火性の物 ( 施行令別表第 1 第 2 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
酸化性の物 ( 施行令別表第 1 第 3 号 )		
内容成分はリストアップされていない		

(7ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM1

(6ページの続き)

引火性の物 ( 施行令別表第 1 第 4 号 )
内容成分はリストアップされていない
可燃性のガス ( 施行令別表第 1 第 5 号 )
内容成分はリストアップされていない
特定化学物質等
第一類物質
内容成分はリストアップされていない
第二類物質
内容成分はリストアップされていない
第三類物質
内容成分はリストアップされていない
名称等を通知すべき有害物 ( 別表第 9 )
内容成分はリストアップされていない
製造許可物質
内容成分はリストアップされていない
鉛中毒予防規則 ( 施行令別表第 4 )
内容成分はリストアップされていない
四アルキル鉛中毒予防規則 ( 施行令別表第 5 )
内容成分はリストアップされていない
有機溶剤中毒予防規則第 ( 施行令別表第 6 の 2 )
第一種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
第二種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
第三種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
強い変異原性が認められた化学物質
内容成分はリストアップされていない
安衛法:皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質
皮膚刺激性有害物質
内容成分はリストアップされていない
皮膚吸収性有害物質
内容成分はリストアップされていない
特化則等
内容成分はリストアップされていない
消防法
危険物
内容成分はリストアップされていない
指定可燃物
内容成分はリストアップされていない
消防活動阻害物質
内容成分はリストアップされていない
海洋汚染防止法
内容成分はリストアップされていない
特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
特定物質代替物質
内容成分はリストアップされていない

(8ページに続く)



## 化学品の名称 Reagent AM1

(7ページの続き)

特定物質
内容成分はリストアップされていない
大気汚染防止法
内容成分はリストアップされていない
水質汚濁防止法
有害物質
内容成分はリストアップされていない
指定物質
内容成分はリストアップされていない

## GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

絵表示



GHS07

## 注意喚起語 警告

## 危険と定められた成分をラベル表示:

サリチル酸ナトリウム  
ニトロプルシドナトリウム

## 危険有害性情報

飲み込むと有害

強い眼刺激

## 注意書き

目保護帯/顔保護面の着用

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は毒物センター/医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

## 国内規定:

水質危険等級: 水有害度 1 (自己査定): わずかに水に有害

化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

## 項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

データシート作成部門: PCC-TWR

問い合わせ先: MSDS.pcc@endress.com

## 縮約と二文字語:

RID: Règlement international concernant le transport des marchandises dangereuses par chemin de fer (Regulations Concerning the International Transport of Dangerous Goods by Rail)

ICAO: International Civil Aviation Organisation

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity - Category 3

急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity - Category 4

(9ページに続く)

J

化学品の名称 Reagent AM1

(8ページの続き)

急性毒性(経皮) 区分2: Acute toxicity – Category 2

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A

\* 前の版からデータを変更

## 項目 1: 化学品及び会社情報

### 製品識別子

化学品の名称 **Reagent AM2**

同義語: for ammonium

製品コード 71251984

該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。

推奨用途 実験用化学物質

### 安全データシートの供給元の詳細情報

供給者の会社名称,住所及び電話番号

Endress+Hauser

Conducta GmbH+Co. KG

Dieselstraße 24

D-70839 Gerlingen

その他の情報問い合わせ先:

Phone: +49 (0)7156 209-10117

E-Mail: MSDS.ehla@endress.com

日本供給元

Endress+Hauser Japan Co.,Ltd.

183-0036 東京都府中市日新町 5-70-3

電話 042-314-1920

緊急連絡電話番号 +81-72-727-2499

## 項目 2: 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類



腐食

皮膚腐食性/刺激性 区分1A H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1 H318 重篤な眼の損傷

水生環境有害性(慢性毒性) 区分4 H413 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

GHSラベル要素 ( 絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き )

### GHS ラベル要素

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

絵表示



GHS05

### 注意喚起語 危険

危険と定められた成分をラベル表示:

水酸化ナトリウム

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに毒物センター/医師に連絡すること。

(2ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM2

(1ページの続き)

特別な処置が必要である(このラベルのを見よ)。

施錠して保管すること。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

## \* 項目 3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

危険な含有成分:

CAS: 1310-73-2	水酸化ナトリウム ⚠️ 皮膚腐食性/刺激性 区分1A, H314; ⚠️ 急性毒性(経口) 区分4, H302	2-6%
CAS: 2893-78-9	1, 3 - ジクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 (1H, 3H, 5H) - トリオン = ナトリウム塩 ⚠️ 酸化性固体 区分2, H272; ⚠️ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2, H371; ⚠️ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; ⚠️ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319	0.1-1%

補足注意事項: 危険に関する注意事項の文面は 16 章から引用したものである

## 項目 4: 応急措置

応急手当処置に関する説明

一般情報: プロダクトの付着した衣類は速やかに脱ぐこと

吸入した場合 意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する

皮膚に付着した場合

即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ

即刻水で洗浄

眼に入った場合 眼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、医者に相談する

飲み込んだ場合 十分水を飲み、外気を吸う。速やかに医者を呼ぶ

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。

何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

CO2, 消火粉末剤あるいは水放射。火が大きい場合には水放射もしくは耐アルコール性泡を使用

使ってはならない消火剤 情報なし

本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 加熱もしくは火災の際に有毒ガスが発生する

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 追加的な関連情報は得られていません。

特別な保護装備: 呼吸保護マスクを着用

## 項目 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

呼吸保護装備を装着

防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない

防護服を着用

環境に対する注意事項

製品が下水処理施設や河川に流れ込まないようにする

(3ページに続く)

J-

## 化学品の名称 Reagent AM2

(2ページの続き)

河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する  
大量の水で薄める  
下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする  
**封じ込め及び浄化の方法及び機材**  
液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する  
中和剤を使用  
13項に下がい汚染材は廃棄物として処理する  
十分な換気を心がける  
**他のセクションへの言及**  
安全な取り扱い方に関しては7項を参照  
人の保護装備の情報に関しては8項を参照  
廃棄処分に関しては13項参照

## 項目 7: 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける  
エアゾールの発生を防ぐ  
火災および爆発防止に関する注意事項: 呼吸保護装置を用意しておく

## 混融危険性を含めた安全貯蔵条件

## 保管

保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし  
同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない  
保管条件に関するその他の注意事項: 容器は密閉した状態に保つ  
保管クラス: 8 B  
特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 8: ばく露防止及び保護措置

## 許容濃度等

作業場において限界値の監視を要する成分:

CAS: 1310-73-2 水酸化ナトリウム

OEL (JP)	最大許容濃度: 2 mg/m <sup>3</sup>
PEL (US)	長期値: 2 mg/m <sup>3</sup>
REL (US)	最大許容濃度: 2 mg/m <sup>3</sup>
TLV (US)	最大許容濃度: 2 mg/m <sup>3</sup>

追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている

## 設備対策

技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7項参照

## 保護具

## 一般防止措置および衛生措置:

食物、飲み物、飼料からは遠ざける  
汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ  
休憩の前、作業終了後には手を洗う  
眼に入らないように  
眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

## 呼吸保護器具:

短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装備を使用すること

## 手の保護:



保護手袋

(4ページに続く)

J-

## 化学品の名称 Reagent AM2

(3ページの続き)

重大な問題が起きるのを防ぐために、手袋の着用は必要最小限に抑える  
カテゴリー III の CE マークの付いた化学製品取り扱い用保護手袋のみを使用する  
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない

## 手袋材

ニトリルゴム

クロロプレムゴム

適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない

手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること

## 眼の保護:



密閉式保護めがね

体の保護: 作業保護服

## 項目 9: 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理及び化学特性に関する情報

## 一般指示事項

## 物理状態

液状

## 色

無色

## 臭い

特徴的

## 嗅覚閾値

決まっていない。

## 融点 / 凝固点 (混合物の場合は、記載省略可)

0 °C

## 沸点又は初留点及び沸点範囲

100 °C

## 可燃性

情報なし

## 爆発下限及び爆発上限 / 可燃限界

## 下限:

決まっていない。

## 上限:

決まっていない。

## 引火点

情報なし

## 分解温度

380 °C

## pH 約 20 °C

12-14

## 粘性:

## 動粘性率

決まっていない。

## 力学的:

決まっていない。

## 溶解度 (混合物の場合は、記載省略可)

## 水:

完全に混合できる

## n-オクタノール / 水分配係数 (log値) (混合物の場合は、記載省略可)

決まっていない。

## 蒸気圧 約 20 °C

23 hPa

## 密度及び / 又は相対密度

## 密度 約 20 °C:

1.012 g/cm<sup>3</sup>

## 相対的密度

決まっていない。

## 蒸気密度

決まっていない。

## その他のデータ

## 外観

## 形:

液状

## 健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項

## 発火温度:

プロダクトは自然発火しない

## 爆発の危険:

プロダクトは爆発する危険はない

決まっていない。

## 溶剤含有量:

## 水:

96.6 %

(5ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM2

(4ページの続き)

固形物含有量:	0.0 %
状態の変化	
気化速度	決まっていない。

## 項目 10: 安定性及び反応性

反応性 追加的な関連情報は得られていません。  
化学的安定性  
熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない  
危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない  
避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。  
混触危険物質 追加的な関連情報は得られていません。  
危険有害な分解生成物 危険な分解プロダクトはない

## 項目 11: 有害性情報

毒性学的影響に関する情報  
急性毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

## 分類上の LD/LC50 値:

## CAS: 1310-73-2 水酸化ナトリウム

口	LD50	2,000 mg/kg (rat)
吸収	LC50/4 h	125 mg/l (Fish)

## CAS: 2893-78-9 1, 3 - ジクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 ( 1 H, 3 H, 5 H ) - トリオン = ナトリウム塩

口	LD50	1,400 mg/kg (rat)
---	------	-------------------

皮膚腐食性 / 刺激性 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 重篤な眼の損傷  
呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 ) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
特定標的臓器毒性 ( 反復ばく露 ) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
呼吸器に危険 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。  
誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 12: 環境影響情報

## 毒性

水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。  
残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。  
生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。  
土壌中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。  
PBT ( 残留性、生物濃縮性、毒性物質 ) 及び vPvB ( 高残留性、高生物濃縮性物質 ) アセスメント  
PBT ( 残留性、生物濃縮性、毒性物質 ): 情報なし  
vPvB ( 高残留性、高生物濃縮性物質 ): 情報なし  
オゾン層への有害性 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ  
他の副作用

## その他のエコロジーに関する注意事項:

## 一般注意事項:

水への危険度分類 1 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性はわずかにある  
薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない  
希薄せずあるいは中和せず、廃水もしくは導水路に流してはならない  
大量に水路や河川に流した場合には pH 値が上昇する可能性がある。高い pH 値は水の組織にガスを及ぼす。使用濃度を薄めると pH 値は大幅に削減される。これによって物質を使用した後も水路に達する排水の水への悪影響は小さい

(6ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM2

(5ページの続き)

## 項目 13: 廃棄上の注意

化学品 ( 残余廃棄物 ) , 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報

勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない

洗浄されていないパッケージ:

勧告: 関係当局の規則に従って処分する

推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使って

## 項目 14: 輸送上の注意

国連番号

IMDG, IATA

UN1824

品名 ( 国連輸送名 )

IMDG

SODIUM HYDROXIDE SOLUTION

IATA

Sodium hydroxide solution

国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス )

IMDG, IATA



Class

8 腐食性成分

Label

8

容器等級

IMDG, IATA

II

環境危険:

情報なし

ユーザー用特別予防措置

警告: 腐食性成分

ケムラー符号:

80

EMS ( 電子メールサービスナンバー ) 番号:

F-A, S-B

Segregation groups

(SGG18) Alkalis

Stowage Category

A

Segregation Code

SG35 Stow "separated from" SGG1-acids

MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

情報なし

輸送/その他の説明:

IMDG

Limited quantities (LQ)

1L

Excepted quantities (EQ)

Code: E2

Maximum net quantity per inner packaging: 30 ml

Maximum net quantity per outer packaging: 500 ml

UN "模範規制":

UN 1824 水酸化ナトリウム溶液, 8, II

## \* 項目 15: 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法

既存化学物質

CAS: 1310-73-2

水酸化ナトリウム

1-410

CAS: 2893-78-9

1, 3 - ジクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 ( 1 H, 3 H, 5 H ) - トリオン = ナトリウム塩

5-1043

特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

(7ページに続く)



## 化学品の名称 Reagent AM2

(6ページの続き)

監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
優先評価化学物質		
CAS: 2893-78-9	1, 3 - ジクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 ( 1H, 3H, 5H ) - トリオン=ナトリウム塩	
白物質		
内容成分はリストアップされていない		
既存化学物質安全性点検結果 ( 分解性・蓄積性 )		
内容成分はリストアップされていない		
既存化学物質安全性点検結果 ( 毒性 )		
内容成分はリストアップされていない		
PRTR 制度 - 第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)		
内容成分はリストアップされていない		
PRTR 制度 - 特定第一種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)		
内容成分はリストアップされていない		
PRTR 制度 - 第二種指定化学物質 (令和 5 年度以降のSDS提供)		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:劇物		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:有機シアン化合物から除かれるもの		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:毒物		
内容成分はリストアップされていない		
毒物及び劇物取締法:特定毒物		
内容成分はリストアップされていない		
労働安全衛生法 危険物		
爆発性の物 ( 施行令別表第 1 第 1 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
発火性の物 ( 施行令別表第 1 第 2 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
酸化性の物 ( 施行令別表第 1 第 3 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
引火性の物 ( 施行令別表第 1 第 4 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
可燃性のガス ( 施行令別表第 1 第 5 号 )		
内容成分はリストアップされていない		
特定化学物質等		
第一類物質		
内容成分はリストアップされていない		
第二類物質		
内容成分はリストアップされていない		
第三類物質		
内容成分はリストアップされていない		
名称等を通知すべき有害物 ( 別表第 9 )		
CAS: 1310-73-2	水酸化ナトリウム	319
製造許可物質		
内容成分はリストアップされていない		

(8ページに続く)

## 化学品の名称 Reagent AM2

(7ページの続き)

<b>鉛中毒予防規則 ( 施行令別表第 4 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>四アルキル鉛中毒予防規則 ( 施行令別表第 5 )</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>有機溶剤中毒予防規則第 ( 施行令別表第 6 の 2 )</b>		
<b>第一種有機溶剤等</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>第二種有機溶剤等</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>第三種有機溶剤等</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>強い変異原性が認められた化学物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>安衛法:皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質</b>		
<b>皮膚刺激性有害物質</b>		
CAS: 1310-73-2   水酸化ナトリウム		
<b>皮膚吸収性有害物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>特化則等</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>消防法</b>		
<b>危険物</b>		
CAS: 2893-78-9	1, 3 - ジクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 ( 1 H, 3 H, 5 H ) - トリオン = ナトリウム塩	第 1 類 酸化性固体
<b>指定可燃物</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>消防活動阻害物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>海洋汚染防止法</b>		
CAS: 1310-73-2   水酸化ナトリウム		
<b>特定物質等の規制等によるオゾン層の保護に関する法律</b>		
<b>特定物質代替物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>特定物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>大気汚染防止法</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>水質汚濁防止法</b>		
<b>有害物質</b>		
内容成分はリストアップされていない		
<b>指定物質</b>		
CAS: 1310-73-2	水酸化ナトリウム	3-3-6

**GHS ラベル要素**

本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類及び表示されています。

(9ページに続く)

J-

## 化学品の名称 Reagent AM2

(8ページの続き)

## 絵表示



GHS05

## 注意喚起語 危険

## 危険と定められた成分をラベル表示:

水酸化ナトリウム

## 危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

## 注意書き

皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに毒物センター/医師に連絡すること。

特別な処置が必要である (このラベルのを見よ)。

施錠して保管すること。

現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

## 国内規定:

水質危険等級: 水有害度 1 (自己査定): わずかに水に有害

化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

## 項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

データシート作成部門: PCC-TWR

問い合わせ先: MSDS.pcc@endress.com

## 縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

酸化性固体 区分2: Oxidizing solids – Category 2

急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity – Category 4

皮膚腐食性/刺激性 区分1A: Skin corrosion/irritation – Category 1A

皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 2

水生環境有害性(急性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 1

水生環境有害性(慢性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 1

水生環境有害性(慢性毒性) 区分4: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 4

\* 前の版からデータを変更